

様式4: 地区連絡会議報告書

# ○「農業懇談会は今後の方向性の意見交換を」

(京都府宮津市 養老地区連絡会議)(令和元年度第1回)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月16日(火) 18:00~20:00
- 場 所: 宮津市養老集会所
- 出席者: 小嶋委員、品川推進委員、事務局1人  
※委員2人、委員以外1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

## 2 地区の特徴、状況、課題

- 大島…農業法人せんごくが地域の農地の受け手となっており遊休農地はない(常勤3人、水田4ha、ハウス18棟)
- 里波見…農家50戸、農地の条件が悪い 中波見…農家20戸、営農組合が高齢化  
奥波見…農家8戸(50年前は28戸)、後継者なし、農家2人が中心

## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会の事前調整  
地域の状況 波見地区…現在、話し合いを継続中。本年度が転機。中間事業の次期取り組み。リーダー不在  
養老中部地区…プラン作成済。中核担い手の(農)せんごくの運営が厳しい  
中間管理事業の今期終了が課題  
田原地区…営農組合を中心に活動
- 農業懇談会では、具体的な地域提案は難しい。今後の方向について意見交換と情報交換  
※今後のキーは、中山間事業と集落営農の強化(これが話し合いの柱になる)



## 4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援